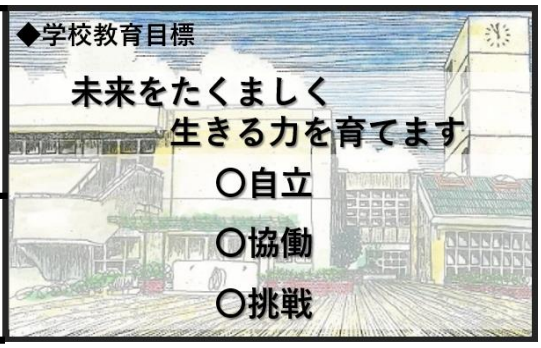
# 小山台中学校だより

R5-11号　令和6年　３月1日(金)発行

◆発　行　横浜市立小山台中学校　〈住所〉横浜市栄区小山台1-14-1
◆校　長　白田　淳子　〈電話〉８９２－７５１２
◆副校長　桝渕　祥子　〈FAX〉８９３－４６３８
◆教職員一同




## 小山台中を支えていただいている方への感謝

学校長　白田 淳子

あとひと月で令和5年度が終わります。生徒のみなさんは令和5年度の締めくくりはしっかりできたでしょうか。これから卒業式、修了式を迎えます。今のクラスで過ごすことができるのもあとわずかです。特に3年生は小山台中を後にして、自分が決めた道を歩むことになります。学校生活の1年間の切り替えに過ぎないと言えばそうですが、4月になれば新しい人たちとの出会いが待っています。ワクワクの期待とちょっぴりの不安が入り混じった独特な春の空気感を楽しんでほしいと思います。

最近、スポーツの世界で日本人が大活躍しています。先日はバスケットで88年ぶりに中国に勝利したり、卓球の女子の団体戦であと一勝まで中国を追い詰めたりしたという報道がされていました。試合後の選手のインタビューで、「仲間やコーチ、スタッフ、地元のみなさんが支えてくださったおかげです。感謝します。」というコメントが多く聞かれます。もちろん、つらい練習を毎日頑張ってきた選手が一番すごいのですが、世界で活躍するようなその道を極めた人は、力を発揮できたのは、自分だけではなく、まわりの支えがあったからと実感できるのでしょう。今回は、小山台中を応援していただいている様々な方を紹介したいと思います。

まずは学校運営協議会という存在です。地域の方、PTA会長、大学の先生や高校の校長先生、弁護士の方などで構成されています。地域を中心に、小山台中と小山台小を応援しようという集まりです。学校の活動や設備などで、もっとこうした方がいいというアドバイスや、教育委員会への要望などをしてくださいます。みなさんの授業の様子を参観したり、様々なアンケートの結果や先生方の報告を受けたりして、それぞれの立場からの助言をいただいています。直接お会いする機会はなかなかありませんが、卒業式に委員の何人かの方はいらしていただけるそうです。

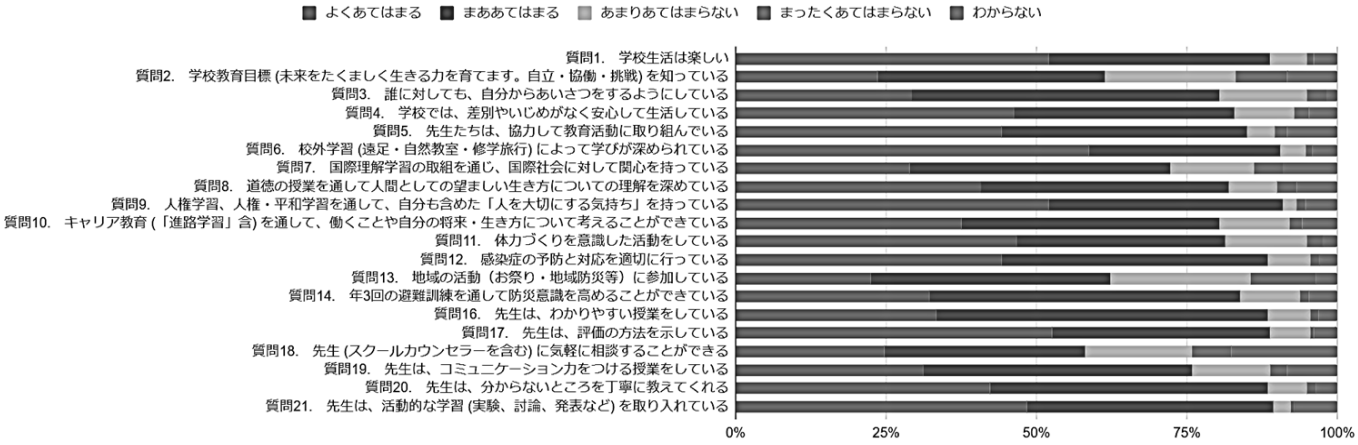
次に特別支援教育支援員や「放課後学び場」の方々です。苦手な勉強をサポートしてくださったり、先生方だけでは手が回らないような場面で助けていただいたりしています。とてもお世話になった人がいるのではないでしょうか。

そして部活動指導員の方々です。部活動は中学校にとって大切な活動ですが、必ずしも専門ではない顧問だけで、技術指導や試合の引率、役員の仕事などすべてを行うことはとても難しいです。そういったときに、細かい技術面のアドバイスをしていただいたり、顧問がついて指導できない場所についていてくださったり、先頭に立って部活をリードしていただいた方もいらっしゃいました。指導員の方の支えで成り立っている部活もあるのではないかと思います。

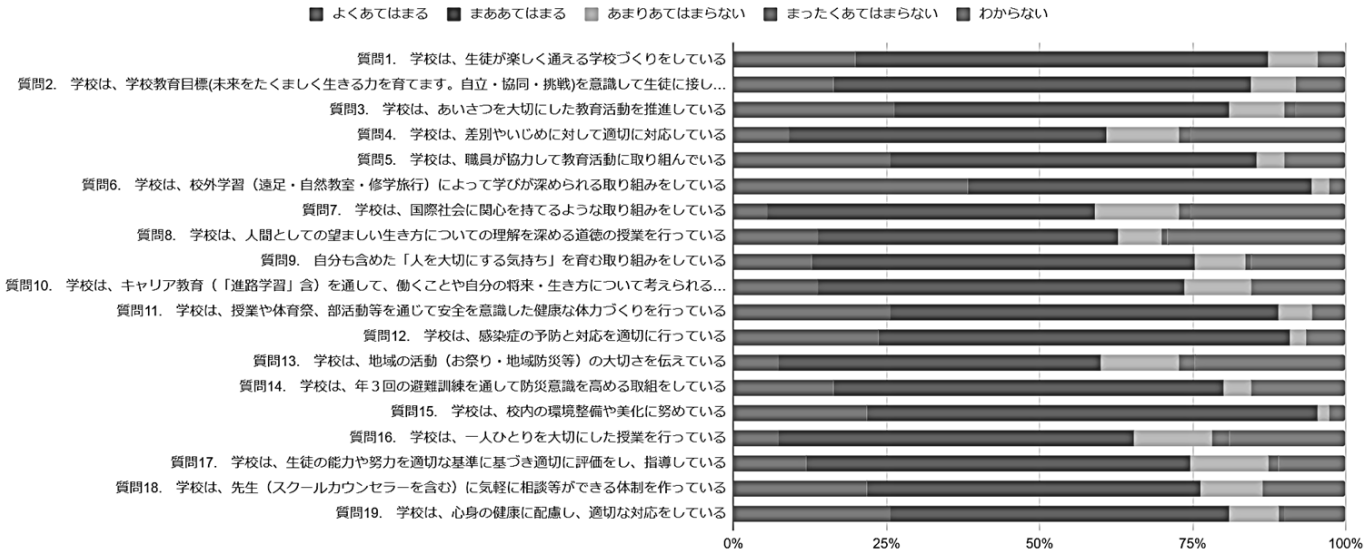
このように、先生方や家族だけでなく、自分に直接関係がなくても自分が気づかないところで、私たちの学校生活は支えられています。あたり前があたり前でないことを知り、感謝の気持ちを大事にしてください。3年生はあと少しで卒業です。義務教育の終了は社会人への第一歩です。たくさんの人とかかわってみなさんは成長しました。一生懸命生きることがその人たちへの恩返しだと思います。

# 小山台中学校　学校評価アンケートの集約と考察

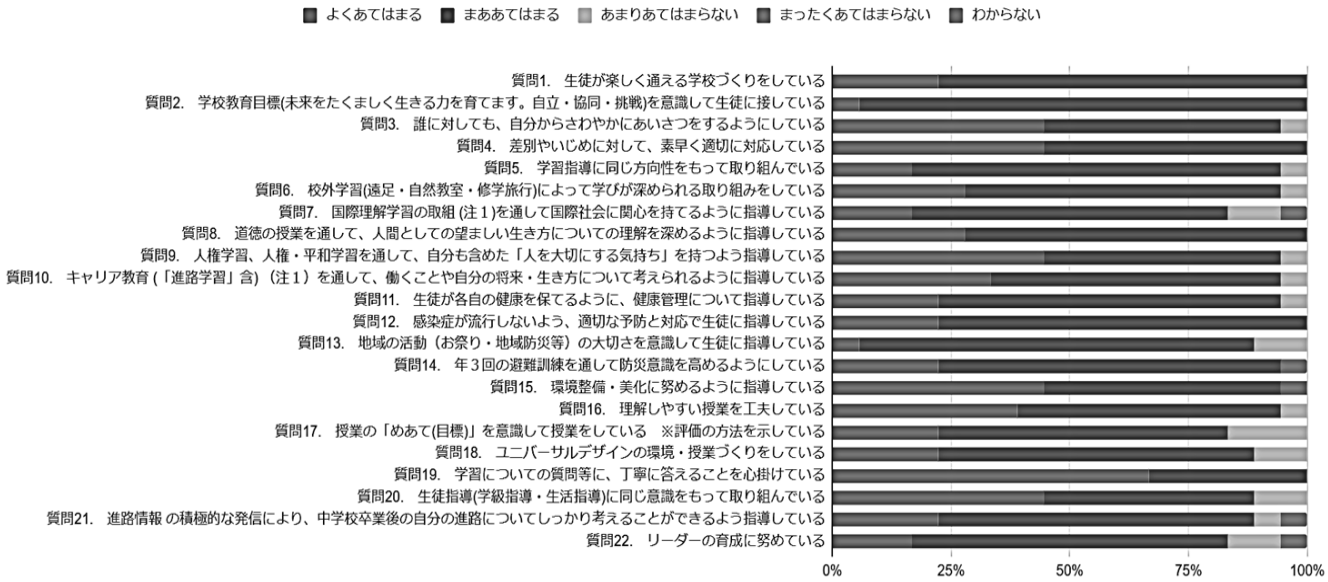
## 生徒用＿学校評価アンケート（回答）




## 保護者＿学校評価アンケート（回答）




## 職員用＿職員用学校評価アンケート（回答）



**生徒・保護者・職員のアンケートから**

| 生徒 | 保護者 | 職員 |
|---|---|---|
| **「学校生活は楽しい」について** | **「学校は生徒が楽しく通える学校づくりをしている」について** | **「生徒が楽しく通える学校づくりをしている」について** |
| 全体の約9割の生徒が「あてはまる」「まああてはまる」と回答した。しかし、10%の生徒は「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」と回答しており、今後も生徒が充実した学校生活を送れるように日頃から生徒をよく観察し、支援していく必要がある。 | 生徒同様全体の約9割の保護者が「あてはまる」「まああてはまる」と回答したが、10%の保護者は「あまりあてはまらない」と回答した。「まったくあてはまらない」という回答は0であった。 | ほぼ全職員が「あてはまる」「まああてはまる」と回答した。引き続き生徒が充実した学校生活を送れるように支援していく。また教育相談などで生徒に寄り添った対応を心がけていく必要がある。 |
| **「学校教育目標を知っている」について** | **「学校教育目標を意識して生徒に接している」について** | **「学校教育目標を意識して生徒に接している」について** |
| 「あてはまる」「まああてはまる」と回答した生徒は6割であった。2,3年生は8割を越えているが、1年生では5割と学年でばらつきがあるため、ばらつきがなくなるよう努めていきたい。 | 8割を越える保護者が「あてはまる」「まああてはまる」と回答した。<br>引き続き、家庭と連携して様々な教育活動を行っていきたい。 | ほぼ全職員があてはまる」「まああてはまる」と回答したが、学校目標を知らない生徒が4割いるところが双方でのギャップがある。そのためこのギャップを埋めていけるように努めていきたい。 |
| **「誰に対しても自分からあいさつをしている」について** | **「学校はあいさつを大切にした教育活動を推進している」について** | **「誰に対しても、自分からさわやかにあいさつをするようにしている」について** |
| 8割の生徒が「あてはまる」「まああてはまる」と回答した。生徒会のあいさつ運動の効果だと考えられる。 | 8割の保護者が「あてはまる」「まああてはまる」と回答した。引き続き、あいさつを大切にした教育活動を行いたい。 | 9割の職員が「まああてはまる」と回答したが、「よくあてはまる」と回答した職員は4割であった。あいさつを通して円滑な人間関係を構築できるように努めていきたい。 |
| **「学校では、差別やいじめがなく安心して生活している」について** | **「学校は差別やいじめに対して適切に対応している」について** | **「差別やいじめに対して、素早く適切に対応している」** |
| 8割の生徒が「あてはまる」「まああてはまる」と回答した。一方で1割の生徒は「あまりあてはまらない」と回答している。引き続き差別やいじめがないという状態を目指していきたい。 | 6割の保護者が「あてはまる」「まああてはまる」と回答した。家庭と連携し、よりていねいな対応、指導を心がけていきたい。 | 全職員があてはまる」「まああてはまる」と回答した。家庭と連携し、きめ細やかな対応、指導へとつなげていけるように、研修等を行っていきたい。 |

## 地域のアンケートから

中学校の教育活動や学校の様子についての情報は回覧板等で学校便りを見ていただくのが主になるようである。今後も継続して学校の様子がわかるような内容を記載し、近隣の施設、関係機関にも見ていただけるよう郵送、届けるなどの形でお渡しすることを続けていきたい。

本年度の地区懇談会では、地域、小学校、教員、生徒、様々な機関の方にも参加していただき、『安心・安全な住み心地のよいまちづくり～あいさつ運動～』をテーマとして、それぞれのご意見や学校に対する思いを話し合える良い機会であったと思う。また、生徒会活動の取組を生徒主体で行ったことに対し、多くの良い評価をいただいた。今後も生徒の取組を取り入れたかたちを考えていきたい。

あいさつ運動への取組についての評価は、良い評価をしていただいている。本年度、小菅ケ谷つながるプランを通じて、あいさつについて地域の方々と生徒会本部が話し合い、地区懇談会に向けて生徒たちが意見をまとめ、全校生徒よりアンケートをとった結果などを地区懇談会で発信したことや、地域ケアプラザとの交流（子どもの森のペットボトルキャップ回収の協力）などの成果ではないかと考えられる。あいさつの大切さについては、地域や関係機関の方々も同じ考えをお持ちなので、今後もまず校内でできることを続け、その取組についての情報発信を行い、地域の方とも連携をはかっていきたい。

## 全体を通しての考察

今年度からアンケート方法を、Google フォームを利用する形で行ったが、保護者の回答率が例年よりも低い数字となった。やり方やアナウンスの仕方などの改善が必要である。

学校生活では新型コロナウィルスが５類感染症に移行となり、以前の学校生活に戻ってきた。アンケートでは例年と変わらず約9割の生徒が学校生活を楽しく送ることができていると回答した。子どもの様子や話から楽しそうに学校生活を送れていることが保護者の高い評価にもつながっていると考えられる。また8割の生徒は自分からあいさつをするようにしていると回答し、保護者の評価も高い結果となった。生徒会の朝のあいさつ運動の効果だといえる。

授業がわかりやすいと思っている生徒が多いが、評価基準などを明確にしてほしいとの声もあった。教科指導について評価方法や学習活動の意味づけなど、日々の授業を通して、丁寧に説明していくことが必要である。

全校生徒の約20%が先生に気軽に相談しにくい、まったくできないと回答している。教育相談等を有効に活用し、学習面以外でも困ったことがあるときには相談しやすい雰囲気をつくっていく必要があると共に、日頃から相談しやすい人間関係作りを目指したい。また、教職員側もより生徒の様子を観察し、教職員同士で情報の共有、声掛けなどの教職員側の姿勢を見せていく必要がある。

多くの質問におおむね良い反応が得られている中、「地域の活動（お祭り・地域防災等）に参加している」では、約30%の生徒が「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」と回答している。コロナも落ち着き、地域行事も行われているため、少しずつ以前に近い形でできるようになってきている。しかし、一度停滞した活動を再び軌道に乗せるには、活動の意義等の細かな部分において職員の共通理解を図りながらやっていく必要がある。すべて以前の形に戻すのではなく、再度一つひとつの活動を見直しつつ、精選する方向で考えていきたい。そして地域とのつながりも引き続き大切にしていきたい。

## 今後のおもな予定

**3月**

| | |
|---|---|
| １日(金) | 専門委員会 |
| ６日(水) | 卒業式予行練習 |
| ７日(木) | 中央委員会 |
| 12日(火) | 卒業証書授与式 |
| 17日(日) | 栄区ヤングフェスティバル |
| 22日(金) | 大掃除 |
| 25日（月） | 離任式・修了式 |
| 26日(火)～4/7(日) | 年度末・春季休業 |

**4月**

| | |
|---|---|
| ８日(月) | 着任式・始業式・入学式 |
| ９日(火) | 離任式・新入生を迎える会 |
| 12日(金) | 授業参観・学年学級懇談会 |
| 15日(月) | ３年生全国学習状況調査テスト生活調査 |
| 18日（木） | 3年生全国学習状況調査テスト |
| 25日(木) | 横浜市学習状況調査 |
| 26日(金) | 授業参観・学校説明会・PTA 総会・部活動説明会 |

※4月の予定は変更することがあります